





なくむしの なすことの なつあさき なつかしき なつぐさの しげきをみれば しげり／＼て 茂れるかげも なつぐさも なつさむき なつしらぬ こほり水をば やまべをさして なつだにも なつのよの なつよりも なごしこの なにごとに なにとなく なほざりに なみかぜの なみかぜは	八二 一七一 六 一五九 二一 六 五 一五 三〇 五二 三三 二二 三六 四一 三二 六六 一五一 一三六 一〇一 一〇九	なみかぜを なみとほく なみのうへに 富士のね見えて 見るより涼し むれたつかげは なみのおと なみのおとは なよたけは ならびたつ ならびゆく なりはひの なりはひは なりはひを なれ／＼て なんてんの	一二二 六四 一五〇 一 一五〇 一三二 四五 九〇 一五五 一五二 八五 七三 四六 四 二五	にはかにも にはしろく にはつとり にはにひく にはのおもに にはのおも にはのおもは にひたかの 山のふもとの 山よりおくに にひばりの 田づら多くも 田にも畑にも 畑も田のもの 小田もひと町	一一四 一一九 一一三 一一七 五一 三五 七 一四七 二五七 四三 一四三 一五六 一五一 一〇二	ねざめして ねざめせし ねのひせし ねやのとを	五七 五七 八 一三〇	の のきあさき のきごと のきちかき のきちかく のきばふく のこしおきし のこしおく のこしおまで のどかなる 春にあひたる 春をぞいはふ	一六二 一五四 三一 二六 二四 一三六 六九 一四五 四〇 九七
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------	----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------

のどかにも のぼりきて のぼるべき のもやまも さびしがるらむ 花のさかりに のるこまに のるこまの あぶみまでこそ 鞍のまへわに 手綱かいくり のるひとの のるひとは のわきだつ 雲のひまより ゆふべの空に	四〇 九五 四一 七三 三九 一六六 一三二 一七 三 三八 一九 一一六 三〇	風をまでも 水難きかむと はしるせぬ はたゝがみ はたつもの はちすばの はてもなき はながめに はなぐはし はなざかり はなちたる はなどきの はなとりの いろねは常に 上も思はで はなのいろも およばぬものは まだみえそめぬ はなのかけ はなみつゝ はなもみぢ うゑわたしたる	九 二七 一四 九八 一六九 二 一一二 一六六 一七二 三三 三三 三九 七六 四九 五〇 二五 二〇 一一一 一一三 一四三	なほうゑそへよ はゝがてに はまどのの 入江のあしま 入江の橋は 宴のまうけ 園にさくらを 庭のいけ水 庭の眞砂路 庭のものとも 花のうたげを はやくより はらふべき はりがねの はりがた 舞子の濱に 舞子のほまの はるあきの はるがすみ たちなかくしそ たなびく山は はるかぜに	五八 一一 三〇 二六 九六 一三〇 九七 五〇 三五 七七 一三二 二二 六四 五六 一一二 一一一 二〇 一一二 一四	はるかぜの 吹かぬあしたに ふきのまに／＼ はるかぜも ふくこゝちして よきてふくかと はるかなる はるかにも はるごとに うたげのにはに うれしきものは はるさむき はるさむみ はるさめに ぬれたる花を みどりはそひて はるさめの なごりの風に なごりの露を はれまになりぬ ふりいでざらば ふるにつけても	一三〇 六 一九 一一 一〇四 四六 四九 三九 三三 一三〇 四八 二四 二六 七七 一三 四八 四八
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------



ふる日しづけき	二六	あまつ空にも	五七	ひとたびは	一一一	ひとりたつ	六七
はるのたつ	七九	あめにのぼれる	九三	花もさくべく	一一一	ひとりつむ	八七
はるのひの	一一二	雲居のにはに	三三	見むよしもがな	一三〇	ひとりみを	四五
はるのひの	九七	空にありながら	一〇	ひとならば	一二三	ひとをして	三五
はるのよの	一五	空はへだても	一〇二	ひとのよの	一六七	ひなづるは	六一
おぼろ月夜の	一四八	空吹く風よ	四五	ひとはみな	一六九	ひなをさへ	一六八
月はまどかに	一四八	空ゆく月も	四五	ひとひらの	八七	ひにそひて	一一一
はるのよと	一一五	むなしき空に	四二	かたをしるべに	六三	ひにやけし	一一四
風のゆくへの	一三六	ひさしくも	七二	地圖ひらきみて	八七	ひのもの	一〇八
見わたす沖の	九	いくさのにはに	二二三	ひとなみの	一五四	ひむかしの	一一〇
はるふかき	一三八	わが阿ふ馬の	四二	えらびしうへに	八三	海よりいでて	一一〇
はるもや	一四一	ひとえだは	四二	おどろきがほに	二七	みそらしらむと	七九
はれてのち	三九	もみぢしにけり	四	花をかざして	二一	都の空も	七九
はれまなき	八四	をりてかへらむ	一六	惜む心は	一一三	ひもとかも	一六九
はれまなく	三四	ひとえだを	一四八	ひとむらと	一六七	ひらかずば	一一〇
はれわたる	三九	ひときに	八〇	ひとむらと	二	ひらくべき	一七一
		ひとごと	一六五	ひとりして	二	ひらくれば	一七一
		ひとしきり	一一二	いくらの小田を	一〇三	開くるまゝにい	一四五
		ひとしげき	八九	うちあまるゝは	一六四	開くるまゝに思	五八
		ひとしめり	一四二	静かにきけば	一三九	ふかな	五八
		ひとすぢを	一五八	早瀬をくだす	一二五	ひらけゆく	一二九
						ときにいよく	一二九

世のさま見れば	九五	ふくかぜの	四二	もとにかゝぐる	一一五	雪のひろ野に	一〇一
ひろき世に	一四五	おともきこえぬ	一六五	ふでとりて	六二	雪をしのぎて	一六一
たつべき人は	一五六	音をきくにも	五一	ふなづくり	一五四	雪わけがたく	四二
まじはりながら	一〇二	ふくかぜも	二〇	ふねうけて	一三二	ふりにきと	一四三
ひろくなり		たえず通ひて	七八	昔あそびし	八五	ふるあめは	五六
		のどかなる世の	二〇	をさなあそびを	四〇	ふるさとと	五
		ふくかぜを	二	ふねならで	一四三	ふるさとの	六一
		ふけゆけば	一〇一	ふねにして	四六	老木の松は	二〇
		いよ／＼寒し	二	ふみみれば	八四	かきねに今も	一四
		さえこそまされ	七五	ふみわくる	一四五	かきねのすゝき	二七
		ふじのねに	五三	ふむことの	一四	春日の野邊に	三
		匂ふ朝日も	一一	ふゆがれの	三七	木々の落葉の	三六
		初雪みえて	八	芝生の叢	八六	高雄の紅葉	三六
		ふじのねも	一〇	にはのしばふは	三二	にはの池水	三六
		はるかに見えて	一〇〇	ふゆのよの	一六	庭の老松	三五
		見えずなりにけ	八	寒さをしのぐ	一三	軒端のさくら	三五
		り	一〇〇	はれたるそらの	一六	花桶を	一〇三
		ふたこゑと	一〇〇	ふゆふかき	一六	花のさかりを	一〇三
		ふたゝびの	一〇〇	ふりつやく	一六	ふるき柱に	一〇三
		ふづくゑに	一〇〇	ふりつもる	一六	ふるさとを	一〇三
		ふづくゑの	一〇〇	雪のあしたも	一六	とひてし人に	四三
		ふみはちれども	一〇〇		一六	遠くはなれてい	四三



くさ人 遠くはなれてゆ く人は ふるゆきも	七九 六〇 八三	ま まうでむと まごころを うたひあげたる こめて練ひし こめてならひし まさかりの まさごぢに まじはりを ますらをに ますらをの ますらをを まさかかも まつがえに まつかげの 石のともしびけ ちてみよ 石のともし火と もさせて まつかぜの まつがねを	一三三 一三四 一六二 一六三 一 一三三 一四六 一四六 六三 八六 一〇九 四四 八 一〇六 二九 二四	まつのほな まつのはは まつりごと いでてきくまは いとまある日に うれしくも 暇ある日にたち いでて いとまなきまに いとまなき身も いよ／＼しげく きよをはりたる たゞしき國と よこしまならぬ まつろはぬ まどあけて まどたくく まどのうちに 扇とれども さし入る月の まどのとや まどろめば	一三八 一三四 八一 一二九 九五 七六 七八 五六 一六五 六五 一六八 二 一一 二五 一一五 五 七七 八三 九一	まどをうつ まなびえて まなびやに まへになり まめやかに	八三 一三六 一三六 一三四 一五七
へだてなく	一二二	み みがかれて みかぐらの みじかくて みじかしと みせつべき みちのべに われを迎ふる われを迎へて みち／＼に みづがめに みづこえし みづのうへに 薄き日かげは	一五二 一五〇 一五三 一〇一 一一六 一一〇 八四 一五八 九七 一五〇 九	ほとぎす いでにしあとに おほかる里に おもひもかけぬ きく人もなき 雲のよそなる ほど／＼に こゝろをつくす たつべき道も ほの／＼と	七九 五〇 一三一 五〇 一三九 六七 六七 二五	ほ	

咲きなびきたり みづをさへ みなしごに みなとえに 夜ふけていりし 萬代よばふ みなとぶね みなびとの ちからあはせて 手ごとにもたる 見るにひぶみに みなびとも みなもとは みにあまる 重荷車を おも荷なりとも みにうけし みにはよし みねたかく みのたけに みやこにて おもひしよりも	七 一六二 一三六 一〇一 七三 三 八 八 八 一四 一五二 六一 一四七 一二九 一三五 三四 一三一 五四	今年もきつ みやこには いづる心や まつ人おほし みやこびと みやのうちに みるたびに みるひとの みるひとと みるまゝに みわたせば つらなる櫻 波の花よる みをすてし みをすてて みをまもる	一一七 七六 一五九 一一二 一八 一六六 一一 一五九 一三三 一七二 一七二 九三 一七〇 七四	ながれたえせぬ むかしわが むさしのと むさしのの むしのこゑ むしのねを むちうたば むちうつも むつまじく むらぎもの 心たゆまず 心つくして 心きたえず 心のうちに 心のかぎり 心むなしき 心をたねの むらくもの むらくもの おほふと見しは たえま／＼に むらくものを	六 四一 一一二 一〇 二五 二一 一三二 一六九 二〇 一一〇 一六三 一五四 八七 一六四 六一 六七 一三六 五 四 一七	むらさめの 響もいまだ 露をふくみて むらとりの むらとりも	七 一三八 一六八 一一八
め めづらしき めづらしと いでて仰がぬ 思ひもあへず めにみえぬ 神にむかひて かみの心に 人の心の	一一三 一三九 一一九 一二七 一二七 一〇九	も もかりぶね もじをのみ もてあそび	一一四 六二 四六				



ものかゝむ	八八	もろこしの	五四	ゆあみせむ	四〇
ものごと	一三七	もろびと	四六	ゆきかひの	一二
うつればかはる	一五七	やまざくら	五〇	ゆききえぬ	二四
進まずとのみ	一五七	やまざとの	二八	ゆきはみな	一〇二
ものふの	六三	みやこいかにと	五九	ゆくすゑは	一七〇
いさむ心は	三九	みやこの空に	四九	ゆくところ	八九
せめたゝかひし	五六	やまだもる	六七	野にも山にも	一六一
野邊のかりふし	五二	しつが心は	一〇〇	わが國ながら	八五
野邊のたむろや	一三三	しづを思へば	一六六	ゆくひとを	五三
野邊のたむろを	一三三	やまちかく	一六六	ゆたかなる	三六
ものまなぶ	六八	やまのおく	六五		
窓をはなれて	九四	やまのはに	一八		
道にたつ子よ	一〇七	かゝれる雲も	一〇〇		
ものわすれ	一〇七	ぬれて見ゆるは	二一		
ものをだに	一〇七	やまのはを	二九		
もみぢばの	三二	やまはみな	二九		
もみぢより	五二	かふるゝ人を	一六六		
もゝかさく	一五九	こもりしたかも	八六		
もゝちの	一六八	やままつの	一四一		
もゝとせを	一六八	このまに見ゆる	一四一		
もるひとの	五三				
		早瀬の波の	一二一		
		やまざくら	五〇		
		やまざとの	二八		
		やましらの	五九		
		みやこいかにと	四九		
		みやこの空に	六七		
		やまだもる	一〇〇		
		しつが心は	一六六		
		しづを思へば	六五		
		やまちかく	一八		
		やまのおく	二一		
		やまのはに	二九		
		かゝれる雲も	一〇〇		
		ぬれて見ゆるは	二一		
		やまのはを	二九		
		やまはみな	一六六		
		かふるゝ人を	八六		
		こもりしたかも	一四一		
		やままつの	一四一		
		このまに見ゆる	一四一		
		しげみがなかに	一九		
		霜ふきおとす	一八		
		やまみちは	一五三		
		やまみちを	一六〇		
		やまみづを	八〇		
		やまもなき	五		
		やまよりも	八四		
		やまをぬく	六八		

ゆふがすみ	二〇	ゆるされて	一一二	なみしづかなる	一〇六
ゆふされば	九	ゆるしたる	一一五	波しづまりて	八五
ゆふだちの	一一四			波をさまりて	二一
雨は高嶺を	一一二	よ		みなはらからと	六五
はれゆく空に	五三	よきたねを	一六九	よりそはむ	一二四
ゆふづきの	一一〇	よきをとり	一四二	よろこびの	一〇八
ゆふづくひ	一一五	よこさまに	一二五	よろづたみ	一五七
かげろふはてゝ	一一五	よととも	七三	よろづよに	一二八
かげろふ森の	四二	よにたかく	一九	よろづよの	一三三
さやかになりて	四二	よにひろく	九四	國のしづめと	一三三
にほひそめたる	四〇	よのさまは	一三四	國ののりとも	八七
ゆふづつの	一五〇	よのために	一三四	聲をのせても	一二四
ゆふひかげ	五一	いさをたてし	一二五	よろづよも	九三
かげろふ待ちて	一一七	もの思ふ時は	四九	よろづよを	一〇四
さすやかきねの	二二	よのなかに	九一	よわたりの	一四六
てらすをみれば	一一四	ことあるときぞ	六三	よをおもふ	三六
ゆふべく	五七	ことあるときは	一四四	よをまもる	一三三
ゆふやけの	八九	しられていよゝ	一四四	よをさめ	一七一
ゆみやとる	一〇五	ひとりたつまで	九〇		
ゆめさめて	七一	よのなかの	九〇		
		風にくゝろを	九〇		
		事ある時にあひ	六六		
		てこそ	五四		
		事ある時にあひ	五四		
		ぬとも	一五一		
		ことまだ聞かぬ	九〇		
		ことまだしらぬ	六七		
		つとめをさくる	一五八		
		人におくれを	一五四		
		人のかゝみと	七〇		
		人の司と	六五		
		よのなかは	一二五		
		よのなかを	一〇七		
		よのひとに	一三三		
		まさる力は	一二九		
		めでらるゝまを	一六一		
		よのひとを	一六〇		
		よはいかに	一六三		
		よひやみを	一一七		
		よむふみの	二二		
		よもぎとも	二二		
		よもすがら	二二		
		よものちみ	二二		
		わかきさも	一四八		



わがくにに	一二四	枝をえらびて	一七	わたのほら	三八	住みし昔の	五九
わがくにの	二六	かきのこしたる	一六九	わたのみも	三四	見し世の春を	一一二
わがくには	一五六	汲みつときし	四三	露にしめりて	五四	をさなくも	一〇五
わがこゝろ	一四〇	心つくして	一五六	やゝあみそめて	一四〇	運びけるかな	一三〇
いたらぬくまの	四六	わがにはの	九	わらはべが	一四一	まため春なし	一三〇
およぼぬ國の	六八	ちめの林の	九九	つくりあげたる	一四一	をさなごが	一四四
千里の道を	一三七	大木のかげは	一〇六	まなびの道の	四六	手にもあまれる	一四四
われとをりく	一三七	わがみよに	一六四	われもまた	一三五	ものかく跡を	一四四
わがしれる	一三七	わがめづる	一六四			をさなごに	一三五
わがそのに	五九	わがやまの	一一八	を		うたはれてこそ	一一一
しげりあひけり	一三四	わけのぼる	一二七	を		つませまはしと	一五五
やしなふ鶉の	二九	わけばやと	七五	を		ひとしくなれる	一五六
わがそのの	一三	わせおくて	五二	を		をさなごの	一六
うちとはきけど	一三八	わたつみの	一六一	を		をさなごを	一一三
梅の花見む	一三	神祭るらし	一〇二	を		をさめしる	一五四
花のうたげに	一四	波のそなる	九〇	を		をしねほす	一五〇
わかたけの	一四	波のよそにも	二三	を		をしへある	三二
しげみりくる	一三一	ほかまでにはへ	一六	を		をしへぐさ	一六三
葉末にすがる	三二	わたどのの	一八	を		をすのちに	二〇
わがために	六二	下ゆく水の	六二	を		をちかたに	一一二
あつめしならむ		窓に枯木の				をちこちに	
いひしことさへ		わたなかに					

索引(終)

わかれすみても	一五五	明治十一年以前	同	三十一	三三
尾花なみぬる	一三二	同	同	三十二	二五
をちこちの	七五	同	同	三十三	一三
縣守るひと	二七	同	同	三十四	二一
野山のむしも	一〇二	同	同	三十五	四二
をやまだの	三一	同	同	三十六	七八
畔のほそ道	三六	同	同	三十七	二八〇
さとのけぶりも	一六〇	同	同	三十八	一九七
をしねかるべく	一七四	同	同	三十九	一五一
をやまだは	四六	同	同	四十	一九一
をやみなく	一九六	同	同	四十一	七六
をりく	九三	同	同	四十二	一〇四
おもひぞいづる		同	同	四十三	一〇四
庭の草木は		同	同	四十四	五六
をしくも		同	同	四十五	七三
		同	同	四十六	一八
		同	同	四十七	
		同	同	四十八	
		同	同	四十九	
		同	同	五十	
		同	同	五十一	
		同	同	五十二	
		同	同	五十三	
		同	同	五十四	
		同	同	五十五	
		同	同	五十六	
		同	同	五十七	
		同	同	五十八	
		同	同	五十九	
		同	同	六十	
		同	同	六十一	
		同	同	六十二	
		同	同	六十三	
		同	同	六十四	
		同	同	六十五	
		同	同	六十六	
		同	同	六十七	
		同	同	六十八	
		同	同	六十九	
		同	同	七十	
		同	同	七十一	
		同	同	七十二	
		同	同	七十三	
		同	同	七十四	
		同	同	七十五	
		同	同	七十六	
		同	同	七十七	
		同	同	七十八	
		同	同	七十九	
		同	同	八十	
		同	同	八十一	
		同	同	八十二	
		同	同	八十三	
		同	同	八十四	
		同	同	八十五	
		同	同	八十六	
		同	同	八十七	
		同	同	八十八	
		同	同	八十九	
		同	同	九十	
		同	同	九十一	
		同	同	九十二	
		同	同	九十三	
		同	同	九十四	
		同	同	九十五	
		同	同	九十六	
		同	同	九十七	
		同	同	九十八	
		同	同	九十九	
		同	同	百	
		同	同	百一	
		同	同	百二	
		同	同	百三	
		同	同	百四	
		同	同	百五	
		同	同	百六	
		同	同	百七	
		同	同	百八	
		同	同	百九	
		同	同	百十	
		同	同	百十一	
		同	同	百十二	
		同	同	百十三	
		同	同	百十四	
		同	同	百十五	
		同	同	百十六	
		同	同	百十七	
		同	同	百十八	
		同	同	百十九	
		同	同	百二十	
		同	同	百二十一	
		同	同	百二十二	
		同	同	百二十三	
		同	同	百二十四	
		同	同	百二十五	
		同	同	百二十六	
		同	同	百二十七	
		同	同	百二十八	
		同	同	百二十九	
		同	同	百三十	
		同	同	百三十一	
		同	同	百三十二	
		同	同	百三十三	
		同	同	百三十四	
		同	同	百三十五	
		同	同	百三十六	
		同	同	百三十七	
		同	同	百三十八	
		同	同	百三十九	
		同	同	百四十	
		同	同	百四十一	
		同	同	百四十二	
		同	同	百四十三	
		同	同	百四十四	
		同	同	百四十五	
		同	同	百四十六	
		同	同	百四十七	
		同	同	百四十八	
		同	同	百四十九	
		同	同	百五十	
		同	同	百五十一	
		同	同	百五十二	
		同	同	百五十三	
		同	同	百五十四	
		同	同	百五十五	
		同	同	百五十六	
		同	同	百五十七	
		同	同	百五十八	
		同	同	百五十九	
		同	同	百六十	
		同	同	百六十一	
		同	同	百六十二	
		同	同	百六十三	
		同	同	百六十四	
		同	同	百六十五	
		同	同	百六十六	
		同	同	百六十七	
		同	同	百六十八	
		同	同	百六十九	
		同	同	百七十	
		同	同	百七十一	
		同	同	百七十二	
		同	同	百七十三	
		同	同	百七十四	
		同	同	百七十五	
		同	同	百七十六	
		同	同	百七十七	
		同	同	百七十八	
		同	同	百七十九	
		同	同	百八十	
		同	同	百八十一	
		同	同	百八十二	
		同	同	百八十三	
		同	同	百八十四	
		同	同	百八十五	
		同	同	百八十六	
		同	同	百八十七	
		同	同	百八十八	
		同	同	百八十九	
		同	同	百九十	
		同	同	百九十一	
		同	同	百九十二	
		同	同	百九十三	
		同	同	百九十四	
		同	同	百九十五	
		同	同	百九十六	
		同	同	百九十七	
		同	同	百九十八	
		同	同	百九十九	
		同	同	百	
		同	同	百一	
		同	同	百二	
		同	同	百三	
		同	同	百四	
		同	同	百五	
		同	同	百六	
		同	同	百七	
		同	同	百八	
		同	同	百九	
		同	同	百十	
		同	同	百十一	
		同	同	百十二	
		同	同	百十三	
		同	同	百十四	
		同	同	百十五	
		同	同	百十六	
		同	同	百十七	
		同	同	百十八	
		同	同	百十九	
		同	同	百二十	
		同	同	百二十一	
		同	同	百二十二	
		同	同	百二十三	
		同	同	百二十四	
		同	同	百二十五	
		同	同	百二十六	
		同	同	百二十七	
		同	同	百二十八	
		同	同	百二十九	
		同	同	百三十	
		同	同	百三十一	
		同	同	百三十二	
		同	同	百三十三	
		同	同	百三十四	
		同	同	百三十五	
		同	同	百三十六	
		同	同	百三十七	
		同	同	百三十八	
		同	同	百三十九	
		同	同	百四十	
		同	同	百四十一	
		同	同	百四十二	
		同	同	百四十三	
		同	同	百四十四	
		同	同	百四十五	
		同	同	百四十六	
		同	同	百四十七	
		同	同	百四十八	
		同	同	百四十九	
		同	同	百五十	
		同	同	百五十一	
		同	同	百五十二	
		同	同	百五十三	
		同	同	百五十四	
		同	同	百五十五	
		同	同	百五十六	
		同	同	百五十七	
		同	同	百五十八	
		同	同	百五十九	
		同	同	百六十	
		同	同	百六十一	
		同</			



昭和十五年七月十五日印刷  
昭和十五年七月二十日發行

頒布價格

布價格

特價金七圓 金拾圓

宮 內 省 藏 版

宮 內 省

發行者

堺市大町東一丁目一八

今 井 平 次 郎

許 可 濟

印刷者

木 村 次 作

大阪市西區阿波座中通三丁目二

堺市大町東一丁目一八

發行頒布所

文 岳 堂 出 版 部

電話七八四番  
振替大阪七〇七六九番

木村工研社印刷所



403  
302



終

